

平成27年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(第1ブロック(平山除く))

開催日時	平成27年10月2日(金)午後7時から午後9時	天気 晴れ
場所	山北第2児童館	
町民参加者	男16人 女8人 (40代以下1人、50代2人、60代以上20人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、政策秘書課長、福祉課長、保険健康課長、事務局2人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：町政全般》

- 静岡県側で大雨が降り鮎沢川が増水した場合、下流側の山北町でも警戒が必要となるが、御殿場市や小山町との緊急連絡体制はどうなっているのか。
- 県が指定した土砂災害警戒区域には、沢の無い丸山が指定されるなど不自然な部分がある。法の基準に該当した箇所を全て指定し、その区域を危険箇所として広く周知することが果たして適当なことなのか。
- SNSはたくさんの人に無料で情報が広がるという利点がある。データを見ると山北の観光面を掲載すると皆さんが見てくれることが分かってきた。山北町では様々なイベントを行っているが、イメージに統一感がないと感じる。町内には個人的に山北町の良いところを発信している方が多数いるが、このようなことは町がやるべきではないかと思う。
- 駅前にカフェがオープンしたが、知っている方は少ないと思うし、オープンしたことが告知されていない。もっと告知して盛り上げていかないと続かない。そのような時にもSNSを活用し情報発信を行うことで継続させていくことができるのではないか。
- プレミアム商品券は、大変好評であったが、販売方法はどのような機関で検討されたのか。
- 山北町には県立山北高校がある。災害時に高校と提携して高校生に力になってもらうという取り組みをしている県があったと思うが、山北町は若い年代が昼間はいないので今後高校との連携については考えているのか。
- AEDが設置してある場所をどのように周知しているのか。

○救急車がすぐには到着できない地区もあるかと思うが、そのような地区を対象とした救急救命の講習の開催についてどのように考えているのか。

○介護の問題は切実で、介護をする方もされる方も非常にストレスがたまる。ストレスを解消するには外に出て同じような立場の人と話しをする等様々な方法があるかと思うが、町としてはどのような取り組みを行っているのか。